



## 平成27年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月4日

上場会社名 株式会社メディネット 上場取引所 東  
 コード番号 2370 URL http://www.medinet-inc.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 木村 佳司  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 宮本 宗 TEL 045-478-0041  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年9月期第3四半期の連結業績（平成26年10月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第3四半期	1,253	△11.6	△1,192	ー	△967	ー	△1,106	ー
26年9月期第3四半期	1,417	△9.2	△1,008	ー	△1,041	ー	△635	ー

(注) 包括利益 27年9月期第3四半期 △1,084百万円 (ー%) 26年9月期第3四半期 △1,380百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第3四半期	△12.52	ー
26年9月期第3四半期	△7.23	ー

(注) 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純損失につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年9月期第3四半期	9,457	7,778	81.9
26年9月期	9,947	8,479	85.0

(参考) 自己資本 27年9月期第3四半期 7,748百万円 26年9月期 8,451百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
27年9月期	ー	0.00	ー	ー	ー
27年9月期(予想)	ー	ー	ー	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成27年9月期の連結業績予想（平成26年10月1日～平成27年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,000	8.5	△1,800	ー	△1,800	ー	△1,810	ー	△20.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年9月期3Q	90,133,100株	26年9月期	88,333,100株
② 期末自己株式数	27年9月期3Q	一株	26年9月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年9月期3Q	88,379,986株	26年9月期3Q	88,018,082株

(注) 当社は平成26年4月1日付で、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。
- ・決算補足説明資料は、本日平成27年8月4日(火)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年10月1日から平成27年6月30日まで)において、当社グループは、平成26年11月に施行された、企業などによる細胞加工の受託を認めた「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」と、再生・細胞医療を実施するための再生医療等製品について定義した「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」による規制環境の変化を捉え、新たな事業展開による事業拡大に向けた取り組みを強化しております。

特に当第3四半期連結累計期間においては、これまでの主力事業であった医療機関に対する免疫細胞療法総合支援サービスに加え、企業、大学、研究機関等からの臨床用、治験用の細胞加工受託を事業化するため、また、当社グループが行っている研究開発の成果をもとに細胞医療製品の製造・販売承認の取得を目指して、東京都品川区に新たに建設している細胞培養加工施設(CPF)の本格稼働に向けた構築作業を計画的に進めており、平成27年5月には約半分の細胞培養加工施設が完成し、当該施設について特定細胞加工物製造許可を取得いたしました。

売上高については、免疫細胞療法総合支援サービスの売上が前第3四半期連結累計期間に比べて減少したこと等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,253,336千円(前年同期比164,398千円減、11.6%減)となりました。研究開発活動については、細胞医療製品の製造・販売承認の取得に向けて、当第3四半期連結累計期間では、株式会社IDファーマ(旧社名:ディナバック株式会社)と締結した「樹状細胞を増幅する特許技術」の実施許諾契約に基づく技術評価に係る研究開発費等が発生しておりますが、一方で研究開発投資の再評価を行い、研究開発費の適正化を図ったこと等により、当第3四半期連結累計期間の研究開発費は405,680千円(前年同期比105,425千円減、20.6%減)となりました。販売活動については、新たな事業展開に向けた取引先の開拓等の取り組み強化により、当第3四半期連結累計期間の販売費は243,718千円(前年同期比24,335千円増、11.1%増)となりました。また、新たな事業環境における細胞加工業及び細胞医療製品事業の推進・展開を図るための戦略的投資等により、当第3四半期連結累計期間の一般管理費は1,059,938千円(前年同期比122,562千円増、13.1%増)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は1,709,337千円(前年同期比41,472千円増、2.5%増)となり、営業損失は1,192,866千円(前年同期は営業損失1,008,201千円)となりました。

その他、投資事業組合運用益42,272千円、受取利息36,780千円、外貨建ての投資有価証券及び長期貸付金の円換算等による為替差益148,000千円等の営業外損益により、当第3四半期連結累計期間の経常損失は967,791千円(前年同期は経常損失1,041,241千円)となりました。また、NCメディカルリサーチ株式会社との提携検討の中止に伴う和解金50,000千円、医療機関に対する設備貸貸用設備等の固定資産除却損30,195千円等を特別損失に計上したこと、資産除去債務の増加による法人税等調整額36,886千円等により、四半期純損失は1,106,500千円(前年同期は四半期純損失635,931千円)となりました。

報告セグメント別の業績の概況は、以下のとおりであります。

#### ①細胞加工業

細胞加工業については、当第3四半期連結累計期間においては、企業、大学、研究機関等からの臨床用、治験用の細胞加工受託を事業化するため、品川細胞培養加工施設(品川CPF)の本格稼働に向けた構築作業を計画的に進めている段階であることから、医療機関に対する免疫細胞療法総合支援サービス売上が収益の柱となっております。既存契約医療機関に対する免疫細胞療法総合支援サービス売上が減少したこと等により、売上高は1,250,151千円(前年同期比165,377千円減、11.7%減)、品川CPFの構築による減価償却費等の諸経費の増加等により、セグメント損失は227,485千円(前年同期はセグメント利益37,050千円)となりました。

#### ②細胞医療製品事業

細胞医療製品事業については、当社グループで行っている研究開発の成果とともに、米国Argos Therapeutics社から導入した「AGS-003」による細胞医療製品の開発が順調に推移しております。日本国内においては、これまで継続的に行ってきた大学病院等との共同研究を通じて、細胞医療製品の可能性を探求しております。また、国内外で行われている細胞医療製品の開発動向にも注目し、すでに着手している上記「AGS-003」の日本での商業化への取組みに加えて、それらのパイプライン取得を視野に入れた活動も行っております。当第3四半期連結累計期間においては、先進医療の細胞培養加工売上の増加により、売上高は3,185千円(前年同期比978千円増、44.3%増)、研究開発投資の再評価を行い、研究開発費の適正化を図ったこと等により、セグメント損失は411,179千円(前年同期はセグメント損失617,956千円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて489,570千円減少し、9,457,845千円となりました。そのうち流動資産は5,243,010千円と前連結会計年度末に比べて1,352,705千円減少しております。主要因は現金及び預金の増加465,734千円、有価証券の減少1,899,921千円です。固定資産は4,214,835千円と前連結会計年度末に比べて863,134千円増加しております。主要因は建物及び構築物の増加793,152千円、有形固定資産その他に含まれる建設仮勘定の減少183,691千円及びリース資産の増加85,059千円、投資有価証券の増加81,449千円及び長期貸付金の増加117,270千円によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて210,894千円増加し、1,678,929千円となりました。そのうち流動負債は1,251,630千円と前連結会計年度末に比べて34,439千円減少しております。主な要因は買掛金の増加59,832千円、流動負債その他に含まれる未払金の減少84,510千円です。固定負債は、前連結会計年度末に比べて245,333千円増加し、427,298千円となりました。主な要因は、品川細胞培養加工施設(品川CPF)に設置する設備の取得等に伴う資産除去債務の増加139,795千円、固定負債その他に含まれる長期リース債務の増加65,828千円及び繰延税金負債の増加40,760千円です。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、四半期純損失1,106,500千円、第三者割当増資による資本金及び資本剰余金の増加380,664千円、その他有価証券評価差額金の増加22,287千円等により前連結会計年度末に比べて700,464千円減少し、7,778,916千円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の85.0%から81.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は平成26年11月13日に公表した数値に変更はありません。連結業績予想の修正については、連結業績に影響を与える見積りや将来予測等を含め、修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

なお、連結業績予想をセグメント別に表すと以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結予想額 (注) 2
	細胞加工業	細胞医療製 品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,000	—	2,000	—	2,000
セグメント間の内部売上高 又は振替高	250	—	250	△250	—
計	2,250	—	2,250	△250	2,000
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	140	△1,210	△1,070	△730	△1,800

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△730百万円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結業績予想の営業損失と調整を行っております。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,110,956	2,576,690
売掛金	297,767	265,641
有価証券	3,799,921	1,900,000
原材料及び貯蔵品	103,021	93,547
その他	284,049	407,131
流動資産合計	6,595,715	5,243,010
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	185,849	979,002
その他(純額)	618,524	527,274
有形固定資産合計	804,374	1,506,276
無形固定資産	291,694	312,692
投資その他の資産		
投資有価証券	538,471	619,920
長期貸付金	1,565,050	1,682,320
長期前払費用	578,036	516,078
貸倒引当金	△580,000	△580,000
その他	154,073	157,547
投資その他の資産合計	2,255,631	2,395,865
固定資産合計	3,351,700	4,214,835
資産合計	9,947,416	9,457,845
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	110,580	170,413
短期借入金	800,000	800,000
未払法人税等	23,946	12,323
賞与引当金	80,080	41,777
資産除去債務	3,710	—
その他	267,753	227,116
流動負債合計	1,286,070	1,251,630
固定負債		
資産除去債務	72,889	212,684
その他	109,074	214,613
固定負債合計	181,964	427,298
負債合計	1,468,034	1,678,929
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,375,761	6,566,093
資本剰余金	7,788,321	7,978,653
利益剰余金	△5,799,062	△6,905,562
株主資本合計	8,365,020	7,639,184
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	86,784	109,071
その他の包括利益累計額合計	86,784	109,071
新株予約権	27,576	30,661
純資産合計	8,479,381	7,778,916
負債純資産合計	9,947,416	9,457,845

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
売上高	1,417,735	1,253,336
売上原価	758,071	736,866
売上総利益	659,663	516,470
販売費及び一般管理費	1,667,865	1,709,337
営業損失(△)	△1,008,201	△1,192,866
営業外収益		
受取利息	29,305	36,780
為替差益	—	148,000
投資事業組合運用益	—	42,272
設備賃貸料	7,711	7,040
その他	2,725	3,757
営業外収益合計	39,741	237,851
営業外費用		
支払利息	5,043	6,391
為替差損	29,298	—
投資事業組合運用損	24,805	—
設備賃貸費用	5,456	4,872
その他	8,177	1,512
営業外費用合計	72,781	12,775
経常損失(△)	△1,041,241	△967,791
特別利益		
投資有価証券売却益	440,145	—
特別利益合計	440,145	—
特別損失		
固定資産除却損	1,456	30,195
減損損失	572	—
投資有価証券評価損	7,100	13,645
出資金評価損	19,388	—
和解金	—	50,000
特別損失合計	28,518	93,840
税金等調整前四半期純損失(△)	△629,614	△1,061,632
法人税、住民税及び事業税	7,293	7,982
法人税等調整額	△976	36,886
法人税等合計	6,317	44,868
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△635,931	△1,106,500
四半期純損失(△)	△635,931	△1,106,500

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△635,931	△1,106,500
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△744,742	22,287
その他の包括利益合計	△744,742	22,287
四半期包括利益	△1,380,673	△1,084,213
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,380,673	△1,084,213
少数株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年6月30日)

当社は、平成25年12月26日付で、ドイツ銀行ロンドン支店及び株式会社夢テクノロジーから第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が218,475千円、資本剰余金が218,475千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が6,375,761千円、資本剰余金が7,788,321千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成27年6月30日)

当社が平成25年12月に発行した第7回新株予約権は、平成27年6月にその一部について権利行使がなされました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が190,332千円、資本剰余金が190,332千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が6,566,093千円、資本剰余金が7,978,653千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	細胞加工業	細胞医療製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,415,528	2,206	1,417,735	—	1,417,735
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,415,528	2,206	1,417,735	—	1,417,735
セグメント利益又は損失 (△)	37,050	△617,956	△580,906	△427,294	△1,008,201

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△427,294千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年10月1日 至 平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	細胞加工業	細胞医療製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,250,151	3,185	1,253,336	—	1,253,336
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,250,151	3,185	1,253,336	—	1,253,336
セグメント損失(△)	△227,485	△411,179	△638,665	△554,201	△1,192,866

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△554,201千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。